

組織名	とよなか都市創造研究所
-----	-------------

## 1 組織概要

所在地	大阪府豊中市北桜塚3-1-28 市役所別館3F
TEL	06-6858-8811
FAX	06-6858-8801
URL	http://www.tium-toyonaka-osaka.jp
e-mail	tium@tcct.zaq.ne.jp
設立	2007年4月1日
設置都市等	豊中市
代表者	上野 晴彦(所長)

## 2 組織動向

### (1) 沿革

設置経緯	1997年度に任意団体として「豊中市政研究所」が設立された。
見直しの動向	2007年度に市の内部組織に組み込まれ、市の都市政策に関する調査研究を担う機関となった。
役割(2017年時点)	○調査研究 ○普及啓発 ○データバンク ○人材育成

### (2) 組織体制

設置形態(択一)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他
常勤職員数	2人
うち常勤研究員数	1人
非常勤研究員数	3人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	研究所内にて行っている。
市民参加、外部連携	

### (3) 会計

会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2017年度予算	4,546千円	
2016年度決算	4,373千円	
2015年度決算	10,560千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

組織名	とよなか都市創造研究所
-----	-------------

### 3 活動動向

(1) 活動実績		
	調査研究名	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2017年度に実施した調査研究	豊中市民の生活の質に関する調査研究	豊中市の生活課題について、また、主観的厚生分析による豊中市民の生活の質について調査研究を行った。具体的には、豊中市民は全国の他の中核市と比較したとき、どの程度生活の質を満たしているかを調査した。また、主観的厚生分析を行い、性別や年齢、所得や学歴など、いろいろな要因を取り除いた後でも、子ども時代の貧困がその後の人生の主観的厚生(生活の満足感、健康感)に影響を与えていることなどを明らかにした。 <a href="http://www.tium-toyonaka-osaka.jp/">http://www.tium-toyonaka-osaka.jp/</a>
	南部地域の活性化に向けた調査研究Ⅱ	人口減少・少子高齢化の進む豊中市南部地域の活性化に向け、何が求められるのか。庄内駅周辺の観察調査による往来者の滞留状況の分析、質問紙調査の自由記述データに基づく地域イメージの計量テキスト分析、20歳～40歳代の地域居住者へのインタビュー調査による地域生活の諸相(居住地選択、買い物行動、つながり、地域の環境評価など)の分析を通じて、今後の地域活性化の方向性について検討した。 <a href="http://www.tium-toyonaka-osaka.jp/">http://www.tium-toyonaka-osaka.jp/</a>
定期刊行物	○機関誌(年度1冊刊行) ○研究報告書	
(2) 活動のマネジメント状況		
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input checked="" type="checkbox"/> その他(全庁的な課題調査結果と専門家、市民等からなる運営委員会の助言を参考にしながら、本研究所で設定する。)	
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特に行っていない	
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない	

### 4 特記事項

研究員の業務分担	各々が調査研究を行うとともに、情報発信、人材育成、関係機関との調整など年度毎に業務を分担している。
研究員の専門性育成の手立て	関係機関の学会等への加入や研究アドバイザーによる研究の助言、シンポジウム等の参加により専門性を高めている。
研究員のキャリアパス等	○常勤職員については人事異動、非常勤職員については論文と面接により選考。 ○キャリアパス例(常勤職員) ・広報広聴課→当研究所→職員研修所
その他	